

# 戦歿者確認(證明)書

一、死歿者所屬部隊名(通稱號)ナリ。即チ航空修理廠(司書三〇五三部隊)

一、徵集年 昭一九年 役種 現役 兵種 飛行兵

一、官階(死歿前) 伍長 (死歿後) 軍曹

一、氏名

一、死歿場所 シマラ島 バタコヤ 年 月 日生

一、死亡原因ニ事由 戦病死 赤痢 黄痰 七月三十一日 發熱

一、死歿年月日時間 昭和二十一年 七月 三十一日 午後

一、死歿者本籍地留守擔當者 南西側 日本八雲基地ニ於テ

## 右確認(證明)ス

昭和二十一年七月三十日

元所屬部隊名 ナリ。即チ航空修理廠

現住所

元官階級

氏名 印

註 死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナリタ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ

宛先

地方世話部慰恤係

No. 1

故 [redacted] は貴重書ゆ記載する頃の通り姓名所属部隊に  
 間違りなく同部隊は戦争終了時スミトウ島北部に駐在  
 して [redacted] 昭和二十一年八月末部隊は引揚集結地スミトウ  
 マカン近郊に集結せられた故 [redacted] 五月十八航空戦  
 隊員の残存者にてカハル飛行場大隊に合入され印彦洋上の  
 各諸島に分散し [redacted] 勤務し [redacted] 航空隊は  
 一応このマカン近郊に集結せられた 利は故 [redacted] とはこの  
 集結地にて初めを知らぬ [redacted] 内地 (の引揚を何時の日かと  
 期待し [redacted] 九月二日 命令に依り百一合員に接收せられた  
 途迄旧部隊の各所在地。航空資材の整備、保養を目的と  
 し、故 [redacted] 以下二十四名がスマトラ、アチエ州、ビルン  
 之根拠飛行基地に引送られた。この一員に故 [redacted]  
 [redacted] 入を [redacted] した。 戦ひ終わった故。始末は又困難を  
 伴い折しも原住民族間に独立運動が醸成され十月中旬に

世話録



70.2

は原住民と衝突、二十四名は本隊と連絡を取れども本隊より  
 は依然懸念せよとの命のみで日誌原住民の集団襲撃と  
 うけつても抗しつづけて参りし。十月末本隊との連絡は杜  
 絶し、た連絡不能に陥入つた二十四名は岩窟を原住民  
 に誘導すの己む得ずなきに至りし。本隊、マガンと間は約五百  
 軒、徒歩で連絡するも途中の原住民は岩窟、衣服、故  
 一と、異教徒としての懸念は多し、これに二十四名は一志  
 自流没するに本隊との連絡の期を待つるに一月を  
 新田アチエ井、北部マラツカ海側、ロクマウエ港より二十三日南  
 東のニツサハ、密林に入つて現地人と避けて茅の穂付と始め  
 まし。十月、初旬現有糧秣と收穫期迄は必要量とを  
 あまりにも不足とし、この間に二十四名は合議し、  
 の主張は唯一の連絡路海上と利用し、マガン進行に  
 準備を急ぐべしと決めた。山生らは木の根、椰文の葉と食むつゝ

世話録

23-17

原住民との接渉。又接渉に依り本隊に近づいて行くと陸路  
 を選び [ ] 一行に [ ] がナリ 一行五名が先  
 発し山を下り海岸に多クロクスミウエの山麓村に入るとか  
 した 然し乗るべき船とてふし十月二十日迄船入手に如  
 未だた少型帆船は唯一隻又中国人の密輸船に [ ] の  
 かあるのみとの連絡が [ ] きり山生一行とは連絡を絶  
 ち [ ] た。三日の山生一行は数百人の原住民に再び襲  
 撃され [ ] 監禁せられた。その時山生は [ ] あり  
 こゝを直感 [ ] た。 時刻 [ ] 監禁も原住人の話 [ ]  
 [ ] 一行のロクスミウエ港よりの脱出に [ ] た。 時刻 [ ]  
 報は [ ] 一行の脱出は [ ] 出港の向もよく [ ] 助  
 り海上に漂流す [ ] マラツカに海をた [ ] 一時 [ ] 原  
 人の追跡に [ ] 原住人が帆船に [ ] いた時は [ ] 目  
 快にマラツカに海に投入した [ ] 船内に誰一人 [ ]

世話録

かつた。唯、決して使用された。拳銃と短剣とを太船に  
 甲板に残した由、又現住民の認める所は、原住民がカーナ  
 敷住みで、おそく知りた時、二百名位手前を、銃者と怒り  
 申した由、且船匠は日本人と云ふ主張に、天命を、全うせよと  
 思ひます。時に昭和二十二年五月二十三日、午前十時、  
 アキエ、ロクス、マウエにて、  
 に申し、ヒゲます。  
 マラツカ、海上は、鯨が、非、中、以、多、中、付、入、水、危、険、現、示、し、て  
 リます。  
 以上、お、始、た、在、の、所、に、あり、ます、が、大、略、小、生、の、海、境、を、申、し、ま  
 した。一、水、年、小、生、は、部、隊、長、記、お、知、り、た、時、は、未、だ、  
 日、記、範、郵、便、物、は、検、査、さ、し、入、ト、ス、リ、ヤ、原、地、人、に、利、し、る、内、容、  
 の、記、載、は、送、付、困、難、な、り、た、の、小、生、は、一、病、死、し、た、と、認、め、ら、れ、  
 猶、一、切、是、は、今、年、(一九三七年)五月、大、列、島、中、日、毛、人、甚、老、地、に、政、

世話録



おぼえがき資料通報



軍邦

A 資料提供者		B 未帰還者資料				入手経緯
詳細な本人との関係		詳細な状態	場所	時期	所属部隊(艦艇又は住所)	
所屬(艦艇名)	居住所	ケントネンヤ独五戦争に戦死	シヤツ島 コリス バント ライ助 ハサガラ シ村	昭和 年 月 日	甲 乙	役職(現名)
						兵種(現名)
階級(現名)	氏名	甲 乙 丙		留守宅	木宿	時期
		甲 乙 丙		死		
階級(戦名)	氏名	甲 乙 丙		甲 乙 丙	甲 乙	年
		甲 乙 丙		甲 乙 丙	甲 乙	月
		甲 乙 丙		甲 乙 丙	甲 乙	日生
		甲 乙 丙		甲 乙 丙	甲 乙	才
C 所見						国
索引	有	無	済	戦	△	中
				救		番号

# 死亡現認(確認)証明書

◎裏面に載上の注意事項を必ず見せしめよう。

\* (調査官) 昭和 年 月 日  
\* (調査官)

料 資 の 者 亡 死		元 諸 亡 死				現留 守 住 擔 當 者	水 籍 地	無有の印	
遺 留 品	及 遺 骸 の 處 理	死亡區分	發病時	傷病名	死亡場所			死亡日時	戸籍部 開通
		ナシ	タケゴン村長		昭和二十二年四月廿四日	マラリヤ(トリペロ)	スマトラ アケエ洲(山中)	昭和二十二年五月廿四日	タケゴン
<p>昔一病に仕事をして来た 現住民と松が再會の時 現住民より新自衛隊員 と見做された</p>		<p>昭和二十二年四月廿四日</p>		<p>スマトラ アケエ洲(山中)</p>		<p>昭和二十二年五月廿四日</p>		<p>タケゴン</p>	
<p>富六吾一</p>		<p>タケゴン村長</p>		<p>マラリヤ(トリペロ)</p>		<p>スマトラ アケエ洲(山中)</p>		<p>昭和二十二年五月廿四日</p>	
<p>昭和二十二年五月廿四日</p>		<p>タケゴン村長</p>		<p>マラリヤ(トリペロ)</p>		<p>スマトラ アケエ洲(山中)</p>		<p>昭和二十二年五月廿四日</p>	

さえ一病に仕事をして来た二人はタケゴン  
 兵隊に捕られて山中に居た  
 マラリヤ(トリペロ)に罹り、四月廿四日  
 死亡した。村長の宅に居た  
 の現在山奥にあり、その遺骸を  
 発見した。タケゴン村長も  
 (現住民より)と見做された。

41-15



タリタリ

# 死亡現認(確認)證明書

(調製月日) 昭和二十八年二月一日

資 料 提 供 者		死 亡 者 の 資 料					
法方たつ知と亡死 現 同 兵 器 工 場 勤 務 中 ニシテ 初 知 セリ	遺 留 品 同 市 基 地 ニ 埋 葬	元 階 亡 死 死亡原因 死亡場所 死亡日時			現 留 守 住 擔 當 者 縣 府 道 郡	本 籍 地 縣 府 道 郡	隊 部 屬 所 航 空 隊
		及 遺 骸 の 處 理 同 市 基 地 ニ 埋 葬	死亡原因 死 亡	死亡場所 ス マ ト ラ 島 タ バ ヲ リ 州 バ タ ン タ ロ 工 場 工 場 ニ 於 テ 作 業 中 事 故 爆 破 ノ 為			死亡日時 昭 和 二 十 八 年 七 月
依 關 の と 人 本 勤 務 同 兵 器 工 場	( 況 状 の 時 當 亡 死 ) 兵 器 工 場 ニ テ 擲 彈 筒 彈 射 撃 作 業 中 爆 破 身 體 ニ 散 彈 ヲ 受 ケ 死 亡 セ リ			區 分 內 容 備 考	種 役 現 役 兵	級 等 官 曹 長	
隊 部 屬 所 高 三 八 一	現 住 所 [Redacted]					名 氏 [Redacted]	年 月 日 生 [Redacted]

備

大死、情況

方ラシテ、第一、大改、  
 メ、  
 開始、  
 指揮、  
 イ、  
 東海、  
 (ガ、  
 敵、  
 氏、  
 同、  
 諸、

昭和二十七年八月十五日

資料提供者

死亡の状況

オランダ軍の第一次大攻勢までには代は少将の麾下  
 にあつてメダン周辺の攻域戦に参加して居るが一九四七年七月  
 二十日より開始されるオランダ軍第二次攻勢時にはインドネ  
 シヤ独立軍を指揮しヤンタル附近に転戦して居る其の右同年  
 九月十三日インドネシヤ軍少佐の指揮するB旅団の一部  
 と共に東海岸洲バビログル沿道にて南下中の敵機動部隊一  
 ががシラム黒魔隊(敵秘藏の最精鋭)を襲撃し同氏は最末  
 羽翼にあつて五名のインドネシヤ兵を率て残敵銃座を死守遂に敵  
 の包圍下におちつり全員壯烈なる戦死を遂ぐ、  
 氏は腹部及顔部に貫通銃創を受け同陸地にて戦死終了后  
 同戦斗に参加せる同志外一名の諸氏の手に  
 して埋葬せり

昭和二十七年八月十五日

資料提供者

1941

# 死亡現認(確認)證明書

昭和二十一年三月二十日

<p>姓名 [redacted]</p> <p>生年 [redacted]</p> <p>性別 [redacted]</p> <p>職業 [redacted]</p> <p>住所 [redacted]</p>		<p>死亡年月日 昭和二十一年三月二十日</p> <p>死亡時間 午後 [redacted]</p> <p>死亡場所 東京都 [redacted]</p>		<p>発見年月日 昭和二十一年三月二十日</p> <p>発見時間 午後 [redacted]</p> <p>発見場所 東京都 [redacted]</p>		<p>発見者 警察官 [redacted]</p> <p>発見者職名 [redacted]</p> <p>発見者住所 [redacted]</p>		<p>発見者氏名 [redacted]</p> <p>発見者職名 [redacted]</p> <p>発見者住所 [redacted]</p>		<p>発見者氏名 [redacted]</p> <p>発見者職名 [redacted]</p> <p>発見者住所 [redacted]</p>	
<p>発見時の状態 発見時既に死亡したと認められる</p>		<p>死因 不明</p>		<p>死因 不明</p>		<p>死因 不明</p>		<p>死因 不明</p>		<p>死因 不明</p>	
<p>発見者の氏名 [redacted]</p> <p>発見者の職名 [redacted]</p> <p>発見者の住所 [redacted]</p>		<p>発見者の氏名 [redacted]</p> <p>発見者の職名 [redacted]</p> <p>発見者の住所 [redacted]</p>		<p>発見者の氏名 [redacted]</p> <p>発見者の職名 [redacted]</p> <p>発見者の住所 [redacted]</p>		<p>発見者の氏名 [redacted]</p> <p>発見者の職名 [redacted]</p> <p>発見者の住所 [redacted]</p>		<p>発見者の氏名 [redacted]</p> <p>発見者の職名 [redacted]</p> <p>発見者の住所 [redacted]</p>		<p>発見者の氏名 [redacted]</p> <p>発見者の職名 [redacted]</p> <p>発見者の住所 [redacted]</p>	
<p>発見者の氏名 [redacted]</p> <p>発見者の職名 [redacted]</p> <p>発見者の住所 [redacted]</p>		<p>発見者の氏名 [redacted]</p> <p>発見者の職名 [redacted]</p> <p>発見者の住所 [redacted]</p>		<p>発見者の氏名 [redacted]</p> <p>発見者の職名 [redacted]</p> <p>発見者の住所 [redacted]</p>		<p>発見者の氏名 [redacted]</p> <p>発見者の職名 [redacted]</p> <p>発見者の住所 [redacted]</p>		<p>発見者の氏名 [redacted]</p> <p>発見者の職名 [redacted]</p> <p>発見者の住所 [redacted]</p>		<p>発見者の氏名 [redacted]</p> <p>発見者の職名 [redacted]</p> <p>発見者の住所 [redacted]</p>	

昭和二十一年三月二十日

(9)



現 認 証 明 書 死 亡 現 認 証 明 書

陸・海・邦

裏面記載上の注意を見ておいて下さい。(※及び裏面の各欄は記載に及びません)

資 料 提 供 者		死 亡 者										留 守 担 当 者														
死 亡 知 方 法		遺 留 品 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	元 死 亡 事 由 (傷 病 名)	諸 死 亡 場 所	亡 死 亡 日 時	死 亡 区 分	発 病 場 所	発 病 時 期	区 分	本 籍 地	開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)	域 名	部 隊 又 は 艦 隊	所 属 (所 轄)	種 兵	種 役	死 亡 時 の 階 級 (兼 職 名 稱 以 外)	名	氏	年	月	日 生	女	男	
当 時 予 備 隊 員 として 在 留 中 であ った と 考 へ ら れ ます。		特 に な け だ した 事 項	遺 骨 一 般 墓 地 に 埋 葬 せ ば 考 へ ら れ ます。	心 臓 病 死	ハルビン 州 夕 陽 兵 隊 宿 舎	昭和 三 十 三 年 一 月 一 日 午 前 十 時	死 亡 区 分			内 容			海 軍	第 八 連 隊	海 軍 部 隊			長 官	本 人 本 籍 地 同 じ							
係 関 の と 者 亡 死		上 述																								
所 住 現		[Redacted]																								
所 属 部 隊		[Redacted]																								
名 氏		[Redacted]																								
死 亡 当 時 の 状 況 及 び 参 考 資 料		本 人 は 当 時 予 備 隊 員 として 在 留 中 であ った と 考 へ ら れ ます。上 記 地 帯 へ 主 に 漁 業 行 事 を 進 行 中 であ った と 考 へ ら れ ます。死 亡 時 刻 は 心 臓 病 死 した と 考 へ ら れ ます。																								



# 死亡現認(確認)證明書

○裏面記載上の注意を見て書いて下さい。

昭和廿七年六月廿日  
世話課

資料提供者	死者の資料					留守者 住所	本籍地	無有の届	
	遺留品	遺骸の処理	死亡原因	死亡日時	死亡場所			隊部	所属
法方たつ知と亡死 (例 埋葬に立会った、屍蓋を見た等)	現地埋葬					昭和三十七年五月十五日	同	一四野象連	一四野象連
関係の人	銃殺					午後	同	隊	現
隊部	国民軍に投じ勤務中					甲	甲	歩	兵
所住現	銃殺は令農園のガム林中にあり					甲	甲	現	現
官名	銃殺					上	上	現	現

37-12

1944

- 六、本籍地世話課の欄は、本證明書の取扱要領等所定事項を記入するために利用のこと。
- 五、調査官の記入事項
- イ、資料提供者の記入せる事項又はその記入欄中記入の出来なかつた事項を、調査官が訂正又は補補した場合は「」を附して記入し、資料提供者の記入したものと明瞭にすること。
  - ロ、調査官は、死亡諸元の各項につき資料提供者に訊しその確度を判定しこれを該當欄に記入すると共に「死亡事案」について総合的に確度を判定し、且つ、調査に際し提供者から受けた印象等から確認處理の懸案として利用するに差支えないか否や等の判決を所見欄に明記すること。なお、資料内容に不十分なる點特に死亡事案に一抹の不安のあるときはこれを補めるための手段等を附記すること。
- 四、参考資料欄には次のことを書いて下さい。
- イ、貴方の外に本人の死亡事案を知っている人があればその人の氏名、所属部隊、本籍地等。
  - ロ、死亡者の特徴（容貌、體格、特長、時職等）。
  - ハ、死亡者が軍属の場合は、その官等階級（日給）、採用年月日等。
- 三、死亡を知つた方法の欄には、自ら現認した、死水をとつた、臨終に立會つた、屍體発見又は葬儀に立會つた、誰々から聞いた、死亡したことを命令等で見た等死亡事案を知つた方法を具體的に書いて下さい。
- 二、※印をつけてある所は調査官が記入しなから書く必要はありません。
- 一、本證明書は、未歸還者の死亡の處理を行う場合の基本となる證據書類でありますから特に正確に書いて下さい。従つて、記憶が不確實なる箇所には？をつけてその旨を明かにして下さい。
- なお、本證明書が最も大切な點は、「死亡の事實を現認（確認）されたこと」並びに「死亡と知つた方法」にありますからこの點は出来るだけ詳細に記述して下さい。

本籍地 世話課	調査官	参考資料
※	見	<p>同人名義戦後敵死隊の総帥 22年の由記に同ヶ崎の末脚 等と著に日放回の各岩麻 パリスに在りて日放回司令 と著に戦後まよひ</p> <p>ヤサの幕僚として本海軍州とシヤ 同氏は美海軍州に在りて 至三三四年内記再燃知人 ハニ喚直う所却外ヒヒヤ 世話課に於て之を 引揚調査</p>
	死と確生あり	スマトラ引揚調査
	世話果	



昭和 〇〇年 〇月 〇日 調書 〇〇〇〇  
 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇  
 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

姓名 〇〇〇〇 住所 〇〇〇〇 職業 〇〇〇〇  
 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇  
 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

調査の目的 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇  
 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇  
 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

4 離隊後の行動及び当時の状況概要について  
 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇  
 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇  
 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

5 23年12月25日、〇〇〇〇を再脱し、〇〇〇〇を介して、(23年2月)11日、  
 川原の如く、〇〇〇〇の20日、〇〇〇〇を介して、〇〇〇〇(〇〇〇〇)として、  
 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

# 死亡現認(確認)証明書

○ 裏面記載上の注意を記して置くこと。

※(調製用)  
※(調製官署)

昭和廿七年六月十五日

世話課

者供提料表	料 資 の 者 亡 死					現留守 住擔者 所者	本 籍 地	無有の届			
	遺 留 品	及遺骸の び遺骨の 處理	元 諸 亡 死					區 分	隊部 稱通	有	
			死亡 區分	發病 時	傷病 名					死亡 場所	死亡 日時
<p>法方たつとと亡死</p> <p>(例) 捕罪に立會つた、屍蓋で見た等)</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">埋葬法要ヲ行フ</p>	<p>クミン街殉職者墓地に葬ル</p>	<p>死亡區分</p>	<p>發病時</p>	<p>傷病名</p> <p>手榴彈製作中爆死ス</p>	<p>死亡場所</p> <p>アチエ州クワランピン郡スラガマ農園 甲</p>	<p>死亡日時</p> <p>昭和 二十七年 二月 二十日 午後 時 分 甲</p>	<p>區分</p> <p>内</p>	<p>隊部稱通</p> <p>翔 八 八 八 八</p>	<p>有</p> <p>隊部稱通</p> <p>翔 八 八 八 八</p>		
<p>保屬のとな人本</p> <p>(例) 同中隊、同病棟等)</p> <p>同地ニ在</p>	(況状の時當亡死)					<p>現留守擔者所者</p>	<p>本籍地</p>	(有無)			
<p>降部屬所 所住現</p> <p>(中隊號)</p>	<p>(成可く詳しく御記入下さい)</p>					<p>現留守擔者所者</p>	<p>本籍地</p>	(有無)			
<p>官氏 氏 氏</p> <p>氏 氏</p>	<p>氏 氏</p>					<p>氏 氏</p>	<p>氏 氏</p>	(有無)			

民生部世話課